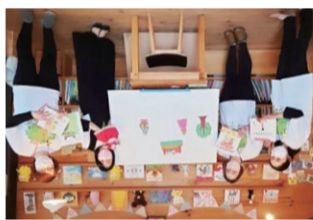


読み聞かせサークル おおきな木

代表 佐竹 美香氏



「読み聞かせサークル おおきな木」は、絵本を通じて子どもや大人もほっとできる時間を過ごしてもらいたいと、絵本と子ども、そして人との関わりが大好きな女性の皆さんによるサークルで、中心メンバー4名で活動中。登米市内の保育所や幼稚園、小学校や児童館での読み聞かせのほか、カフェや公民館で絵本を利用した各種イベントを企画・開催しています。

活動を始めるきっかけは、登米市の学校支援ボランティアとして小学校で絵本の読み聞かせを行ったことから、「色々な場所で活動できたら楽しそうだね！」と、みんな意気投合し、「読み聞かせサークル おおきな木」を2021年7月に結成しました。「絵本を通して子どもたちが持っている本来の力を引き出し、大人も子どもの頃に読んだあの絵本をまた読んでみて、自分の考え方や大切にしていることへの気づきの機会になれば」と、代表の佐竹さんは話します。



Instagram 「読み聞かせサークル おおきな木」または、「looknak1201」で検索！
FB 「読み聞かせサークル おおきな木」または、「looknak1201」で検索！

住所 登米市西郷公民館 (登米市西郷公民館)
電話 0220-58-4556
HP https://nishi-go.jp/



西郷地区コミュニティ推進協議会
Facebookでも情報発信中



東郷地区コミュニティ推進協議会
住所 登米市南方町本郷大塚37番地
電話 0220-58-4579
HP https://www.higashi-go.jp/

「おきな木」は、おとなと子どもが一緒に活動できる場です。おとなが読んでくれる絵本を通して、子どもは想像の世界に入り、おとなは子どもの想像の世界に入り、お互いに想像の世界を共有することができます。おとなは子どもの想像の世界に入り、子どもはおとなの想像の世界に入り、お互いに想像の世界を共有することができます。

「おきな木」は、おとなと子どもが一緒に活動できる場です。おとなが読んでくれる絵本を通して、子どもは想像の世界に入り、おとなは子どもの想像の世界に入り、お互いに想像の世界を共有することができます。おとなは子どもの想像の世界に入り、子どもはおとなの想像の世界に入り、お互いに想像の世界を共有することができます。

ぷらっととめ

R5.3 Vol. 48

とめ市民活動プラザニュース TAKE FREE



2月25日、登米市長沼ポート場クラブハウスを会場に、親子で楽しむ「木のおもちゃワークショップ」が開催されました。(主催：登米市まちづくり推進部観光シティプロモーション課、協力：子育て応援団 みんなのおもちゃ箱)

初めに、2021年に放送されたNHK連続テレビ小説「おかえりモネ」で林業考証をされた登米町森林組合の竹中 雅治さんより、ドラマ制作時のエピソードや木育などのお話があり、続いて協働パートナーとして子ども支援活動をされている「子育て応援団 みんなのおもちゃ箱」の皆さんが、たくさんの木のおもちゃを用意しており、木のぬくもりに親しみながら、おもちゃ箱の皆さんと一緒に親子で遊ぶ姿は、登米市ならではの「森」の魅力が感じられる時間になりました。



ぜひ情報をおよせください

Information

こんな時はプラザへ♪

- 子どもの居場所づくりをしたいなあ...
- 印刷機あります! 安くコピーできたらなあ...
- NPO法人に興味あるけど...
- 一緒に活動してくれる仲間ができた!
- 100円で500枚も印刷できた♪
- NPO法人の立ち上げ方、勉強会、講座などの情報ももらえた

お気軽にご相談ください!

MAP

とめ市民活動プラザ (アルテラスおおみ内)

Facebook

ホームページ

●開館時間 火曜日～日曜日 / 10:00～18:00
●休館日 毎週 月曜日 年末年始 (12月29日～1月3日)

フェイスブック やってます
いいね! & フォローをお願いします

ラジオで活動紹介やイベント告知をしよう!
76.7MHz **HO!FM** 「まるっと!とめ Like」
毎月第2第4火曜日 お昼 12:30 から放送中

住所 〒987-0511 宮城県登米市迫町佐沼字大綱 390-15 (アルテラスおおみ内)
TEL 0220-44-4167
FAX 0220-44-4877
Email npo@tome-shiminplaza.jp
HP http://www.tome-shiminplaza.jp/
発行月 2023年3月
発行/編集 登米市・とめ市民活動プラザ (NPO法人とめタウンネット)



とめプラザ活動 NEWS

登米市コミュニティ組織 合同研修会

1月25日、市内21施設ある公民館等の指定管理者として施設管理運営を担い、社会教育をはじめ地域づくりを推進している各コミュニティ組織の役員の方々と、同組織の事務局長を兼務する公民館長・ふれあいセンター長、そして事務局職員を対象とした合同研修会を登米市錦織公民館を会場に開催しました。

第1部では、東北大学 石井山准教授から「未来に託せる地域をめざした公民館の経営」として、多様な世代の声を聴くことの大切さや、防災に関する取組での公民館の役割についてなど、多くのヒントを得られる講話をいただきました。

続いて第2部では、今年度、社会教育主事講習を修了された2名の公民館職員が「宮城県東部地区における地域の居場所づくりの現状と展望」として研究発表を行いました。また、石井山准教授が同講習の主任講師として毎年ご指導いただいていることもあり、アドバイスと併せて社会教育主事についても解説をいただきました。(主催：登米市コミュニティ推進連絡協議会、登米市公民館等連絡協議会 共催：登米市教育委員会、とめ市民活動プラザ)



ピックアップ

100年フード認定「けの汁」が学校給食に



昨年、文化庁の「100年フード」に豊里町の二ツ屋地区の郷土料理「けの汁」が認定されました。豊里コミュニティ推進協議会の働きかけもあり、南部学校給食センターの協力を得て1月27日に同センターが管轄する4校に給食として提供されました。豊里小・中学校6年生の児童は、「初めて食べたけど美味しい!」「おばあちゃんを作る味とちょっと違うけどこっちもいい!」など、笑顔で味わいました。

「100年フード」は、世代を超えて受け継がれ、長く地域で愛されてきた食文化を文化庁が認定し、未永く継承することを宣言する取組です。昨年度、宮城県では、「けの汁」と「はらこめし」の2件が登録されています。

「けの汁」は、江戸時代後期、二ツ屋地区に移り住んだ盛岡藩の領民が始めたと言われる固有の食習慣で、小正月の料理として今も受け継がれ、毎年1月中旬に二ツ屋地区だけで作られている幻の郷土料理で、大根、じゃがいも、タケノコ、焼き豆腐、油揚げ、わらびなど十数種類の材料を使い、味噌や醤油などで味付けをした具沢山の料理です。

同地区婦人会の協力を得て、豊里公民館が開催するイベントでも提供される機会がありますので、「けの汁を食べてみたい!」という方は、ぜひ公民館の情報をチェックしてみてください。

●お問合せ 豊里コミュニティ推進協議会(豊里公民館) 電話：0225-76-2237 HP：https://miyagi-toyosato.jp/



壁新聞で振り返る、ちょっと前の石越

2月4日、5日の2日間、壁新聞で振り返る、ちょっと前の石越「石越クロニクル 2017-2022」が、登米市石越公民館で開催されました。(主催：石越郷土史研究会、石越らしさ編集局)

同研究会が石越小学校で図書室ボランティアとして活動を始めた2017年から、これまで発行した壁新聞が通算100号に達し、全号を展示。壁新聞内にあるヒントを探しながら回る「郷土史クイズラリー」や、レコード愛好家のボランティアによる「80sおんがくかん」も行われ、年代物の音響機器を見たり、懐かしい音楽を聴きながら改めて石越地区を知る場になったようです。

また、クイズラリーで全問正解された方には「国鉄時代の石越駅ポストカード」がプレゼントされ、懐かしい風景に見入っていました。短い開催期間ではありましたが、地域をつなぐ壁新聞を多くの皆さんが楽しまれたようです。



●お問合せ 石越郷土史研究会 HP：https://ishikoshikyoudoshi.jimdofree.com/



放課後児童クラブ「びいすんち」いよいよスタート!

NPO法人びいすかんぱにいでは、古民家をリノベーションした施設「びいすんち」が2月末に完成し、地域の皆さんやリノベーションに協力いただいた方、そして施設利用を検討している保護者の皆さんなどを迎え、説明会とお披露目を開催しました。

「びいすんち」は、主に放課後児童クラブ(放課後児童健全育成事業)を運営する民間の施設として、4月1日から事業をスタートします。「これまで法人として行ってきた育成事業や体験事業のスキルを活かした児童クラブにしていきたい。保護者の皆さんが働きやすく、子育てしやすい環境づくりのサポートもできれば!」と、代表の千葉 拓也さん。また、放課後前の時間を利用した不登校の子ども支援や、みんなで作る子ども食堂など、早くも今後に向け新たな支援事業を検討しているとのこと。

●お問合せ NPO法人びいすかんぱにい 電話：080-3142-4559 住所：登米市南方町上ケ戸8番地 HP：https://cibita0823t.wixsite.com/my-site

フェイスブックでは法人の活動を発信しています!「びいすかんぱにい」で検索!



助成金情報

SDGs 貢献プロジェクト ～包摂的かつ持続可能な地域社会の発展に向けて～

「格差是正」「災害分野」「環境保全」に取り組む様々な団体の事業を助成により支援します

●支援内容

- 日本国内で実施する包摂的かつ持続可能な地域社会の発展に貢献する事業を対象とします
- ・「格差是正」：人と人もしくは地域間で生じる水準の差異の是正につながる事業
- ・「災害分野」：災害発生地域における支援及び将来の災害に備えた減災・防災につながる事業
- ・「環境保全」：様々な天然資源の維持につながる事業

●対象団体

原則、法人(営利/非営利等は問わず)

●助成金額

1法人1事業を対象とし、上限200万円

●応募期間

6月1日(木)～6月30日(金)

●連絡先

SDGs 貢献プロジェクト外部事務局
(公益社団法人日本フィランソピー協会内)

ご質問等は上記プロジェクトウェブサイト上のお問合せフォームよりお願いします



みらいチャレンジプログラム

●支援内容

岩手県・宮城県・福島県内で実施する地方創生や地元活性化を目指す新たな活動

●対象団体

個人・団体は問いません

●応募条件

- ①～③に掲げるすべてを満たす団体・個人
 - ①常時連絡が可能な状態である
 - ②応募する活動が岩手県・宮城県・福島県内での活動である
 - ③岩手県・宮城県・福島県内に主たる活動拠点がある
- ※既に活動中の団体・個人も対象

●助成金額

上限額100万円(給付総額3,000万円)

●応募期間

2023年2月1日(水)～5月8日(月)
当日消印有効

●連絡先

公益社団法人日本フィランソピー協会
「サントリー東北サンさんプロジェクト みらいチャレンジプログラム」事務局
TEL 03-5205-7580(月～金 10:00～17:00)



子どもゆめ基金

民間団体が実施する自然の中でのキャンプや科学実験教室などの体験活動、絵本の読み聞かせ会などの読書活動等への支援を行っています

●支援内容

- ①子どもを対象とする体験活動や読書活動
- ②子どもを対象とする体験活動や読書活動を支援する活動

●対象団体

社団法人、財団法人、NPO法人、法人格を有しない地域のグループ・サークルなど、青少年教育に関する活動を行う民間の団体

●助成金額

市区町村規模の活動 50万円以下

●応募期間

2023年5月1日(月)～6月27日(火)17:00締切

●連絡先

独立行政法人 国立青少年教育振興機構
子どもゆめ基金
TEL 0120-579-081(平日 9:00～17:45)
E-mail yume@niye.go.jp

